

第67回“社会を明るくする運動”ポスター展  
三島市議会議長賞 佐野小学校6年 佐藤秀磨さん

## CONTENTS

9月定例会 議案審議の概要	2
決算審査	4
市政に対する一般質問	6
活動アルバム・11月定例会のお知らせほか	12



■みしまファンネット推進事業  
 事業総額 348万円  
 東京・渋谷駅前スクランブル  
 交差点の正面にある商業ビル  
 「QFRONT」の大型ビジョン  
 で放映する市のPR動画制作な  
 どにかかる経費を追加しました。

**1**  
 Pick up  
 一般会計予算を  
 増額補正

## 渋谷でのPR動画制作へ

平成29年

9月定例会

9月5日～9月26日

会期:22日間

■今回の議案は…

市長提出議案 19件  
 議会提出議案 1件

この号では次の項目を  
 Pick up!

**1**  
 Pick up

〈議第 52 号〉  
 【平成 29 年度三島市一般会計補正  
 予算（第 2 号）】 (賛成多数)  
 ■補正予算額  
 1 億 7,827 万 7,000 円

**2**  
 Pick up

〈議第 58 号〉  
 三島市廃棄物の処理及び清掃に関す  
 る条例の一部を改正する条例  
 (全会一致)

**3**  
 Pick up

〈報第 11 号〉  
 平成 28 年度健全化判断比率及び平  
 成 28 年度資金不足比率の報告につ  
 いて

**4**  
 Pick up

〈発議第 2 号〉  
 道路整備事業に係る補助率等の高上  
 げ措置に関する意見書

三島市議会

検索

すべての議案と結果などの  
 詳細は、三島市議会ホーム  
 ページをご覧ください。

### 主な質疑

**質疑** 実施の目的は。

**答弁** 日本全国、さらには世界  
 中の人々に「三島市」の知名  
 度・認知度の向上を図ることを  
 目的に行う。渋谷への来街者は  
 一週間に259万人（ビデオリ  
 サーチ社2016年調査）で、  
 多くの人の視聴が期待できる。  
**質疑** 放映期間と回数は。  
**答弁** 平成30年1月から3月に  
 かけて9時～24時の時間帯に1時  
 間に1回、30秒の動画が流れる。

**質疑** 三島駅南口広域観光交流  
 拠点整備事業に伴うメリット  
 は。

**答弁** 動画広告の掲出は、東急  
 エージェンシーの価格表による  
 と、今回の放映回数の場合、月  
 額税込140万4千円（3カ月  
 421万2千円）だが、それを  
 無料で提供していただける。  
 この広告により三島市の認知  
 度アップを図り「三島市を目的  
 地の一つとして選ぶ」きっかけ  
 となる可能性を広げる。  
 三島駅南口広域観光交流拠点  
 整備の目的を果たす上でも、非  
 常に大きなメリットになると考  
 えられる。

### 〈その他、歳出の主な内容〉

●庁舎建設基金積立金	5,000万円	●公共施設保全計画策定事業	550万円
●税収入還付金	5,000万円	●アモーレみしま補助金	200万円
●施設補修事業（清掃センター）	5,960万円	●木造住宅耐震補強助成事業費補助金	1,580万円
●西間門新谷線建設事業	△5,230万円	●小・中学校施設修繕ほか	2,750万円
●三島駅北口線建設事業	△1億2,865万円		



**■観光振興事業（箱根八里観光推進社会実験）**

事業総額 100万5千円

本市の箱根西坂エリアの回遊性の向上や二次交通の充実などの検討を行う社会実験事業について、実施自治体として支援するため、ソフト事業の実施にかかる費用を追加しました。

**主な質疑**

**質疑** どのような業務を委託するのか。

**答弁** 箱根八里を紹介するパネル展の設置および運営と、おもてなしイベント開催の業務委託を予定している。また、仮設の接待茶屋の設置および運営も業務委託したいと考えている。



**Pick up 2**  
廃棄物処理の条例改正

**ごみの持ち去り**  
ダメ!

ごみ集積所に排出された一般廃棄物などの持ち去り行為を抑制するため、次の事項に関する規定を新たに設ける改正を行いました。

- (1) 持ち去り行為の禁止
- (2) 持ち去り行為をしている者等に対する原状回復や持ち去り行為の禁止の命令
- (3) 原状回復命令等の違反者についての公表
- (4) 原状回復命令等の違反者に対する罰則

**主な質疑**

**質疑** 改正する理由は。

**答弁** 全国的に、換金を目的として集積所から資源物が持ち去られてしまう事案が発生しており、それを抑止するためを行う。

**質疑** 原状回復命令・公表等により期待される効果は。

**答弁** 氏名などの公表や罰則の適用により抑止を図る。

**Pick up 3**  
健全化判断比率を報告

**市の財政の健全化は保たれています**

平成28年度決算における4つの健全化判断比率などが報告され、三島市の財政は国の基準を大きく下回り、引き続き財政の健全化は保たれていました。

【平成28年度健全化判断比率】 (単位：%)

		実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
三島市	平成26年度	—	—	6.6	15.2
	平成27年度	—	—	6.4	19.9
	平成28年度	—	—	6.4	14.5
	早期健全化基準	12.43	17.43	25.0	350.0
	財政再生基準	20.00	30.00	35.0	

※実質赤字比率、連結実質赤字比率は、三島市は赤字が生じていないため「—」の表示となります。

**Pick up 4**  
意見書を提出

**道路整備に向けて**

道路整備事業に係る補助率等の高上げ措置に関する意見書

道路は、市民の安全・安心な暮らし、地域経済の活性化を支えるとともに、災害時には緊急輸送路として機能するなど、市民生活に欠くことのできない重要な社会基盤です。そのため、今後も引き続き必要な整備の進めが図れるよう、道路関係予算の確保や補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書を可決し、国会および関係行政機関へ提出しました。

**○人事議案**

人事議案が提出され、全員賛成で同意しました。

【教育委員会委員】

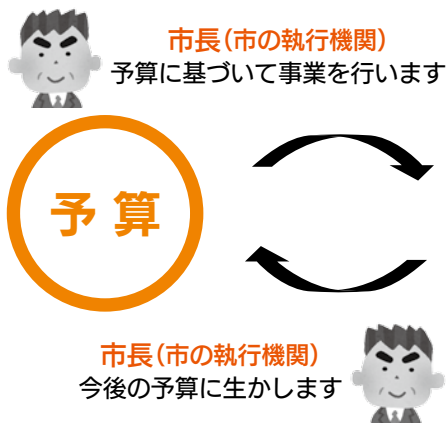
草間路代さん

【人権擁護委員への推薦】

石原晴美さん

# 今後の予算へつなげる！ 平成28年度 決算審査

市は予算がどのように使われたのかを決算としてまとめ、議会はその内容をチェックします。  
決算審査では、前年度の予算の使い方が適正かつ効果的であったか、いかに事業の成果が上がったかなどを議会で審査し、改善点の指摘や、今後の予算や事業計画への要望を伝えます。



## 一般会計決算

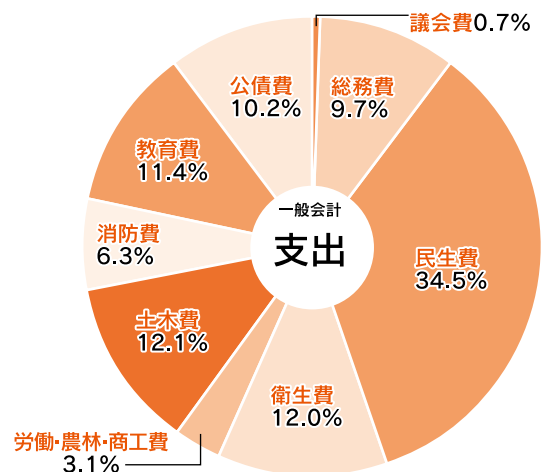
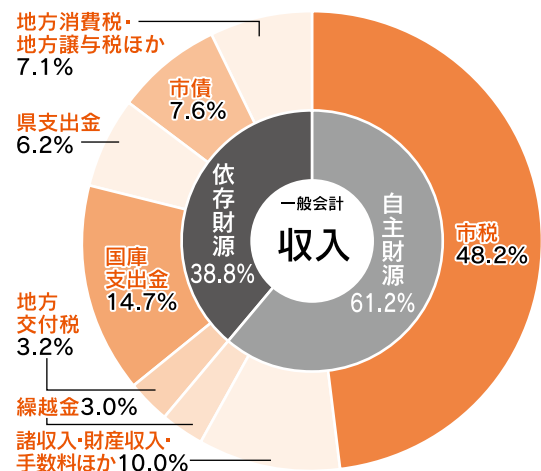
収入	支出
361 億 9,726 万円	355 億 2,473 万円

## 特別会計決算

会計	収入	支出
国民健康保険	140 億 7,522 万円	138 億 3,276 万円
介護保険	71 億 6,149 万円	69 億 5,170 万円
後期高齢者医療	12億1,070万円	12億742万円
墓園事業	1,221万円	394万円
下水道事業	32億8,199万円	32億1,612万円
駐車場事業	7,197万円	6,020万円
合計	258億1,358万円	252億7,214万円

## 公営企業会計決算 (水道事業会計)

区分	収入	支出
収益的収支	14 億 6,425 万円	13 億 2,739 万円
資本的収支	1 億 4,236 万円	6 億 298 万円



総務、福祉教育、経済建設の各常任委員会では、平成28年度一般会計ほか各種会計歳入歳出決算について、計6日間にわたり詳細な審査を行いました。

次のページでは、各委員長による審査経過の報告の主な内容をお知らせします。

男性の育児休業取得奨励事業費補助金

**Q** 取得する事業所や取得日数はどのような状況か。  
**A** 男性の育児・家事への参加を促し、夫婦で子育てしやすい環境を整えるために行う本事業は、平成28年度の申請が前年度に比べて大幅に増加した。申請は大手企業が多く、取得人数の増加に加え、最近では一人当たりの取得日数がかなり伸びており、働き方改革の浸透がみられる。今後は交付の対象や取得日数について制度の見直しを行っていききたい。

**【意見】** 人手不足などを理由に男性の育児休業取得が難しい中小企業に対し、取得につながるような働きかけと支援を行ってほしい、との要望があった。

廃棄物処理手数料の状況

**Q** 平成28年4月から生活系自己搬入ごみの有料化と事業系一般廃棄物処理手数料の値上げを行ったが、不法投棄やごみ減量化にどう影響したか。

**A** 不法投棄回収量はわずかながら減っているが、内訳として、山間地などへの不法投棄が減少する一方、集積所に出入されるルール違反ごみは増加している。集団回収を含めたごみ総量は、前年度と比較して6.5パーセント減少しているため、引き続きごみの適正な排出と減量化を推進したい。



福祉教育

児童福祉施設整備事業

**Q** まりあ保育園の新設や恵明コスモス保育園の増設などにより定員が128人増えたが、待機児童などの課題は解消されていない。この原因をどう考えているか。

**A** いくつかの原因があると考えられるが、新規の申込者が増えていることが第一にある。第二に、定員増の128人のうち、3歳未満児と3歳以上児がそれぞれ約半数ずつ増えたのだが、待機児童の74%が3歳未満児であるので、その定員が要望に追いついていないと思われる。また3歳未満児については、保育士の配置基準により、1人の保育士が預かることのできる園児数が少ないため、定員を増やすことは難しい状況である。



認知症初期集中支援推進事業

**Q** 平成28年度は、認知症初期集中支援チームが発足して2年目にあたる年であったが、具体的にどのような活動がされたのか。

**A** 認知症初期集中支援チームは、認知症サポート医1人、保健師2人、看護師2人など計7人で活動しており、平成28年度は17人の方を支援した。内容としては、認知症の疑いがあるが医療や介護のサービスにつながない方やそのご家族に対して、訪問を繰り返し、認知症サポート医の指示を仰ぎながら、ご本人やご家族に合わせたサポートを行った。その結果、適切な医療や介護のサービスにつながった方が大半を占めている。

経済建設

楽寿園の健康遊具の選定

**Q** 子どもが遊べる場所としての魅力を増やすために実施したアンケートは、どのような結果となったか。

**A** 市内の小学3・6年生と中学2年生、三島地区環境保全推進協議会の会員事業所、保育園や幼稚園の幼児や保護者、老人会など、若い層からお年寄りまでの世代を対象に、約5000件以上のアンケートを行った。その結果、世代により異なるものの、特に小学生、中学生から希望が多かったアスレチック遊具の設置について検討している。

公園の遊具の管理

**Q** 遊具の不具合は、子どもの事故につながるケースが多い。平成28年度に実施した遊具の保守点検はどのような結果だったか。

**A** 判定結果は、A、B、C、Dの4段階であり、C判定までは使用してもよいが、D判定は使用してはならないというものである。点検対象284基のうちD判定が21基あり、そのうち12基は修繕ができないものであったため、すぐに撤去した。修繕ができるものは、部分的な修繕を行い現在も使用している。





ここが聞きたい!

# 一般質問

一般質問とは…

市議会議員が市に対して質問を行い、適切な市政運営を進めているか、チェックや提案をするものです。

16人の議員による質問が行われ、活発な議論が展開されました。

藤江 康儀 (改革みしま)

## 総合防災対策

Q ゲリラ豪雨や暴風雨に対する避難勧告などの広報体制の整備について伺う。

A 避難勧告などの実効性を確保するため、避難対象の要配慮者利用施設や住民に対し避難情報伝達訓練などを行っている。水防法などの改正によりこれら要配慮者利用施設は、避難確保計画の作成が義務付けられたため、説明会を開催し11月末までの完成を目指している。

## 全国学力学習状況調査

Q 本市におけるエビデンス (調査結果) に基づく教育施策について伺う。

A 調査結果を分析する検討委員会を年3回実施し、その結果を授業改善につなげるために、研修会や学校訪問を実施している。保護者には、リーフレットや学校だよりなどで結果を伝え、学校と家庭が連携して、児童生徒の確かな学力の育成につながるよう努めている。



杉澤 正人 (清論会)

## 生活困窮世帯の子どもの学習支援

Q 市が業務委託した事業者の教室は市内にいくつあり、正規雇用された対応責任者 (アルバイト・ボランティアは除く) は何人か。

A 子どもの学習支援事業の委託先である事業者の教室は、三島駅南口前に1カ所あり、常駐している正社員のスタッフは2人である。

Q 市内各種ボランティア団体、NPO、自治会、教育現場との協働・相互交流の場は、事業実施計画として確保されているのか。

A 学習支援事業は、主に対象生徒の高校進学への支援を目的としており、各種団体などとの協働・相互交流については考えていないが、対象世帯の課題などの状況により、必要に応じて福祉総務課を窓口として、学校や教育委員会など関係機関と連携した対応を取っていく。



伊丹 雅治（改革みしま）

障がい者の就労・就労訓練の状況

Q 障がい者は働きたくても働く場所が少ない。本市における障がい者の就労・就労訓練の状況について伺う。

A 障害者雇用促進法による法定雇用率により就労の機会は広がっているが、一般企業などへの就職は依然として厳しい状況である。また、就労訓練の場としての就労系サービスの利用は年々増加傾向にあり、障がい者の就労意識は高いものとなっている。

農福連携モデル事業

Q 農業・福祉の関係者へ実際の活動を見せるなど、周知を目的とした農福連携モデル事業の実施ができないか伺う。

A 農福連携の課題は情報不足であるため、実際に農地において農家の方や福祉事業所の方に見ていただくことは、



農家と福祉事業所の相互理解を深めるために有効であると考えます。三島型の農福連携事業を展開することを見据え、モデル事業の実施を検討していきたい。

他の質問事項

ガバメントクラウドファンディングの活用

村田 耕一（公明党）

子ども医療費助成を18歳まで延長できないか

Q 中学校3年生まで医療費無償化を実施しているが、県の18歳までの実施予定を踏まえ、平成30年度から18歳まで無償化できないか。

A 子ども医療費助成は、多くの自治体が対象年齢拡大や助成金額を見直し、自治体間の競争となっている。一方、全国一律の助成とすべきとの意見もある。助成対象拡大には多額の予算が必要となることから、その時期や補助の割合など県の動向を注視し検討する。

小中学校図書室にエアコンを設置できないか

Q 小中学校すべての図書室に図書がいて読書環境が整えられているが、夏に室温が31度にもなる図書室にエアコンを設置できないか。

A 学校図書室へのエアコンの設置は、子どもたちを図書室に誘導し読書意欲の喚起が期待され、情操教育に良好な読書環境となると捉えている。しかしながら、電源設備の容量不足や、室外機の設置場所などの課題も多く、財政事情を考慮する中で今後検討していく。



他の質問事項

市職員の働き方改革

佐藤 寛文（清論会）

本市の災害時の対策

Q 三島市地域防災計画には、原子力災害や放射能対策の記述が一切ないが、今後の必要性をどう捉えているのか伺う。

A 国の計画では原子力発電所からおおむね5〜31km圏内の市町は、地域防災計画に原子力災害対策編を定めるとされている。本市は発電所から直線距離で約90km離れていることから、状況を注視し、当発電所の再稼働の際には地域防災計画への記載も検討していく。

過去の質問の進捗状況

Q 三島駅南口東街区の再開発事業における今後のスケジュールと、市民の皆さんとの共通認識を図ることへの取り組みを伺う。

A 平成29年度末頃に事業協力者を選定し、平成32年度着工、35年度竣工を目指している。また、これまで同様、事業の節目節目に説明会や広報みしまなどを活用して、最新の情報をお知らせし、市民の皆さんとの共通認識を図る。



他の質問事項

ごみ減量と今後の施設計画

## 服部 正平（日本共産党議員団）

### 就学援助・入学準備金

Q 市立中学生の購入する制服の価格が学校ごとに違う点は、公平性に欠ける。その差額解消は三島市が対応すべきと考えるがどうか。

A 制服は、各中学校独自に選考委員会などで伝統や校風を加味しながら選考されたものと思われるが、その差額に対し、全入学生徒一律に、市の財源で賄うといった考えは持っていない。なお、要保護、準要保護生徒については、費用の一部を援助している。



### 介護予防・日常生活支援総合事業

Q 新たに開始された総合事業のサービス内容を提供するに当たり、利用者数に応じた援助者の人員数は確保されているか。

A 新たに開始した訪問型サービスAを提供する事業所は市の指定を受けており、その際に提出された申請書類により、従事者の人員配置などに関する内容を点検していることから、従来の介護サービス事業所と同様の管理体制が構築されているものと考えている。

## 川原 章寛（新未来21）

### 広域観光交流拠点整備事業の成功に向けて

Q 地下水の保全が大前提となるが、仮設工事における親杭横矢板工法を含め、万全を期すべく、その対策についてどのように考えるか。

A 地下水対策検討委員会で検討し、地下水を遮断することのない工法と評価している。工事中の流動阻害、水質汚染対策は、市や事業者がモニタリングを行い万全の監視体制を整えており、不測の事態への対応は十分可能であると考える。

Q 三島駅南口自転車等駐車場利用者の市道寿町3号線における交通安全対策および三島駅への動線の確保についてどのように考えるか。

A 市道寿町3号線の交通安全対策については、ホテル事業者により状況に応じて警備員の配置など安全対策を講じていただく。また、市の駐輪場から三島駅への動線確保については、ホテル施設内を可能な限り通過できるよう協議していく。



## 大石 一太郎（清論会）

### 源兵衛川のように美しい水辺の創出を

Q 水の郷構想では清住緑地から丸池に至る水辺環境の保全・修景の必要を感じるが、市民や観光客に向けた回遊性の高い散策路を整備できるか伺う。

A 平成29年度から、三島市、沼津市、清水町、長泉町の観光協会が、清住緑地などを含めた広域のウォーキングルートを検討をしていくと聞いている。この動きを契機に、今後、広域での政策連携が促進されるよう、本市も積極的に協力していく。

### 地域福祉推進の担い手に処遇改善を

Q 増加する要介護者に対し、不足する介護士などの確保のため、給与など処遇改善に向けた市の取り組みを伺う。

A 国が介護報酬改定において介護職員の処遇改善を行っている。本市では以前から全国市長会を通じて要望・提言を行っており、平成29年6月にも介護人材の確保と処遇改善の一層の推進を図ることを要請している。今後も引き続き、全国市長会を通じて要望していく。



### 他の質問事項

立地適正化計画の進捗と市民への周知



佐野 淳祥（改革みしま）

市民文化会館トイレにベビートイレの設置を

Q 母子室のあるホールは、乳児と親の来場が前提である。トイレに赤ちゃんが使えるベビートイレの設置を求めるが、どうか。



A 平成30年度実施予定の(仮称)市民文化会館施設整備実施設計業務の中で検討しようと考えていたが、比較的簡易に設置することができ、かつ、設置したベビートイレが今後の大規模工事で無駄にならないことを確認した後、速やかに設置したいと考えている。

千貫樋の歴史まちづくり計画の指定進捗状況

Q 歴史まちづくり計画に14の候補があり、5つが10月に指定される中、重要な構成資産である千貫樋の指定進捗状況について伺う。

A 指定に向けて調査をしている中で、千貫樋の所有権の有無や、敷地周辺の公図の不接合などの課題が判明した。課題の早期解決は困難であると考え、各課題について関係機関との協議を続け、解決に向けた努力を続けていく。

他の質問事項

小中学校の英語教育推進と電子黒板カバールの設置

土屋 利絵（無党派）

障がいのある児童の就学先の決定

Q 市就学支援委員会の判定に保護者や子どもの思いは反映されているのか。

A 市就学支援委員会には、各幼稚園や保育園などから、保護者と教育相談や就学相談を重ね作成した資料を提出していただいている。その資料には、保護者や子どもの希望や思いも記入されており、審議の際にも、保護者や子どもの思いは、十分に生かされていると考えている。

全ての子どもが

家庭的な環境で育つために

Q 三島市には児童養護施設があるが、市民への里親制度の普及は不十分に感じられる。県や関係団体とどのように連携していくのか。

A 家庭における養育と同様の環境で継続的な養育が可能となる里親制度の重要性を十分認識していることから、里親支援業務を実施している恵明学園児童家庭支援センタースマイルや児童相談所、東部里親会などと連携し、里親への理解、普及に努める。



中村 仁（清論会）

本市の予算編成および財政運営に対する疑問

Q 監査委員による決算審査で補助金に対し、指摘という強い表現があった。これが与える平成28年度および今後の市政への影響を伺う。



A 指摘という表現は、強い意味を持った、改善していかねばならない事案であると理解する。補助金の内容や効果、事業の実施方法などを今以上にしっかりと聴取して、真に必要なものに限り認め、補助金の取り扱いについては、注意しつつ適正に取り組んでいく。

自治会・町内会と三島市の関係

Q 自治会・町内会に行政から任せられる仕事は多く、責任は重い。市との関係における、現状の問題点を踏まえた今後の方向性を伺う。

A 行政や各種団体からさまざまなお願いをしており、できる限り負担軽減につながるよう、回覧依頼などを市の広報配布日に合わせ、定めた日に発送することや、補助金についても見直しをしたい。今後も自治会・町内会と連携を深め、支援に努めたいと考えている。

他の質問事項

消防の広域化に伴う中郷地区の経過

下山 一美（日本共産党議員団）

子どもの貧困対策のため、  
こども宅食などの諸施策の推進

Q 子どもの貧困対策を立案するには実態を把握することが必要であり、そのための実態調査の実施について、見解を伺う。

A 全ての子どもが夢と希望を持ち成長していける社会の実現を目指し、効果的で適切な支援を講じることができるよう子どもの貧困対策を総合的に推進するためには、地域の子どもの貧困の実態を把握することが最も重要であることは認識している。



Q 非婚ひとり親家庭への寡婦（寡夫）控除のみならず適用の対象を、保育料や市営住宅の家賃以外に拡充することについての見解を伺う。

A 国と県の補助を受けて実施している事業では、みなし適用分は市単独事業となることの負担増や、システム改修などの課題がある。一方、婚姻の有無により行政サービスの利用負担などに差が生じている現状もあり、今後、個々の事業において適用可能か研究する。

他の質問事項

こども宅食事業の、調査・研究・検討を

野村 諒子（清論会）

空き店舗を出さない取り組み

Q 商店街活力の評価となる、小売業年間販売額を増やすために、空き店舗対策事業の改善や、空き店舗を出さない取り組みは何か。

A 上層階が住居で、住居の入口が1階店舗となっている空き店舗について、要綱改正に向けて、財源の確保策と併せて検討していく。また、現在の経営者が高齢で事業継続に悩んでいる場合、みしま経営支援ステーションにおいて相談に乗り、可能な限り支援していく。



私立幼稚園の運営支援

Q 発達障がい傾向を持つ園児が増えている中で、幼児期の早期指導を促すために、私立幼稚園への専門家派遣をさらに充実できないか。

A 現状では、発達や成長に支援を要する園児がいる市内の幼稚園、保育園などのうち、希望のあった園に療育支援室の臨床心理士による巡回相談を年2回ずつ行っているが、今後、職員の充実を図り、できる限り巡回の回数を増やしていくことを検討していきたい。

岡田 美喜子（新未来21）

介護従事者不足を解消するための支援制度

Q 質の高い介護サービスを維持し提供するため、どのように介護職員の育成や支援を行い、介護従事者不足に対応していくのか伺う。

A 介護職員初任者研修費補助金により、市内の事業所の人材確保に努めている。また、高校生の介護施設の職場見学や、中学・高校で認知症に関する講座を開催し、若い世代に介護事業所の仕事内容や必要性を周知し、将来の仕事の選択肢に加わるよう取り組んでいる。

山田川自然の里の保全と利活用

Q 里山の原風景を保全するだけでなく、いつでも市民がウォーキングなどで健康づくりができるよう整備し、PRすべきではないか。

A 街の中では味わえない山田川の里山の魅力を、多くの市民に知っていただくためのウォーキングマップの作成や、いつ来ても自由にウォーキングなどが楽しめるよう、山田川自然の里への案内看板の設置などを検討し、里山での健康づくりに取り組んでいく。



他の質問事項

スポーツを通じた持続可能な健康都市づくり



## 弓場 重明（清論会）

### せせらぎ号への1日乗り放題の導入

Q 市民や観光客の利便性向上と、運賃収入の増加による補助金削減のため、せせらぎ号に1日乗り放題を導入してはどうか。

A せせらぎ号の料金体系は、1乗車100円であり、すでに路線バスとしては格安料金となっている。そのため、1日乗り放題のワンデークーポンを導入して運賃増収をすることは難しいと思われるが、バス運行业者との可能性について協議する。



### スポーツ行政の現状

Q スマートウェルネスに貢献するためにも、日本体育協会を中心としたスポーツ界の組織図に掲載されている3団体が連携し、それぞれを同様に支援していくことはできるか。

A 各団体には独自の設立趣旨や設置目的があり、違う組織構成や手段により運営されている。今後、団体同士の発展的な対話に基づき、より効果的な連携、融合の形が取られるなら、市民のさらなるスポーツ振興という観点から、さまざまな支援のあり方を検討していく。

## 土屋 俊博（改革みしま）

### 自治会・町内会活動の継続の危機に対する行政の対応

Q 高齢化に加え仕事量の多さが負担となり役員を受け手が見つからず、町内会の加入者も減少している。この課題について考えを伺う。

A 自治会・町内会長、役員の方には、地域のために多大な尽力をいただき感謝する。市内でも孤独死が発生しており、地域の見守りがますます大切になっている。シビックプライドを持ち、地域の問題は地域で解決できるよう自治会・町内会と連携していきたい。



Q 町内会の負担を軽減し行政の下請けではなくパートナーとして地域の絆づくりに取り組むために、自治会応援条例を検討できないか。

A 今後、自治会連合会の意向を確認しつつ県内外の条例制定状況および情報収集をしていく。市の政策を立案する際もしくは実行する際には、負担になるかもしれないが、地域社会の基盤で重要な役割を担う自治会・町内会に協力をお願いすることにご理解願いたい。

## 議会の活動

7月

- 3日 社会を明るくする運動街頭宣伝
- 4日 議会だより編集委員会
- 10日 全国市議会議長会 産業経済委員会
- 11日 夏の交通安全県民運動初日一斉街頭広報
- 18日 公共施設等マネジメント検討特別委員会  
東部地区6市4町議会議長連絡会
- 19～21日 福祉教育委員会行政視察
- 25日 議員説明会  
各派代表者会議
- 31～8月2日 総務委員会行政視察

8月

- 1～3日 経済建設委員会行政視察
- 4日 議会報告会運営会議
- 15日 平和都市推進事業街頭啓発
- 27日 総合防災訓練
- 28日 公共施設等マネジメント検討特別委員会  
議会報告会運営会議
- 29日 各派代表者会議  
議会運営委員会  
議案説明会  
議会だより編集委員会

9月

- 5～26日 9月定例会
- 5日 各派代表者会議  
本会議（議案審議）
- 7・8日 経済建設委員会（決算審査）
- 11・12日 福祉教育委員会（決算審査）
- 13・14日 総務委員会（決算審査）
- 15日 議会報告会運営会議
- 19～22日 本会議（一般質問）
- 19日 各派代表者会議  
議会運営委員会
- 21日 秋の全国交通安全運動初日一斉街頭広報
- 22日 議会運営委員会
- 26日 本会議（議案審議）
- 27日 議員説明会

# 活動アルバム



8月17日

三嶋大祭り農兵節パレード



たくさんのご声援  
ありがとうございました

8月27日

総合防災訓練



災害に  
備えて...

9月21日

秋の全国交通安全運動  
初日一斉街頭広報

安全運転を  
心掛けましょう!



10月5日

議員研修会



山梨学院大学教授の江藤 俊昭氏を講師に「議会改革のあり方と基本的な議会運営について」のテーマで開催しました。

## 議員の寄付は禁止 されています

議員は、公職選挙法により、選挙区内でお中元やお歳暮、ご祝儀を出したり、年賀状やあいさつ状を出すことが禁止されています（答礼のための自筆によるものは除く）。また、有権者が議員に対して寄付を求めることも禁止されています。市民の皆様のご理解をお願いします。



## スマホでも！タブレットでも！ 市議会ホームページを ご覧ください

「議会映像」をクリックすると、市議会の本会議を見ることができます。

「ライブ中継」は本会議の開催日にリアルタイムで、「録画映像」は24時間いつでも見ることができます。（「録画映像」の公開は本会議の約1週間後からです。）



### 11月定例会のお知らせ

11月28日(火) 本会議(議案審議)  
12月5日(火)～8日(金) 本会議(一般質問)  
12月12日(火) 本会議(議案審議)

いずれの日も午後1時からの開会予定です。ぜひ傍聴にお越しください！

### 議会だより編集委員会

委員長 伊丹 雅治 副委員長 村田 耕一  
委員 杉澤 正人 委員 瀬川 元治  
委員 石渡 光一 委員 服部 正平